

市大新時代へ 公立大学法人として再出発



本学は、19年4月1日付けで、公立大学法人となった。当日はあいにくの小雨模様であったが、完成したばかりの体育館で法人設立式が行われ、関係者約30名が出席して大学の新たな出発を祝った。式典では、吹奏楽部による学生歌の演奏、松藤・新理事長と江島市長のあいさつ、来賓祝辞に続いて、管理研究棟正面玄関において法人名板の除幕式が行われた。このあと理事長と坂本・新学長などが記者会見に臨み、続いて第1回の経営審議会と教育研究審議会が開催された。法人化への移行準備にかけた期間は1年余りと比較的短かったが、まずは順調に滑り出した。

大学の法人化にともない、予算編成や職員人事など、従来、おもに市で行っていた業務は原則として法人・大学に移ることになる。大学はこれまで以上に大学運営に関する自主的な権限を持つことになるが、一方で、決定について結果責任を問われることにもなる。松藤理事長は設立式で「大学間競争が厳しさを増すなかで、地域に信頼される大学経営を目指したい」と述べたが、法人職員が一体となって教育研究環境の改善、学生への教育サービスの向上、地域社会への貢献などに努力することが求められる。

◇ ◇

理事長以下の法人役員及び大学の部局長等の新体制は次の通りである。

法人役員

理事長	松藤智晴
副理事長	坂本紘二
理事	米田昇平
理事	植田泰史
理事（教育研究担当）	古田圭一（早稲学園理事長）
理事（経営担当）	北山雅史（栄光 代表取締役）
監事	清水弘彦（弁護士）
監事	久保園浩（税理士）

学長及び大学の部局長

学長	坂本紘二
学部長（学生担当）	米田昇平
副学部長（教務担当）	森 幸弘



大学院研究科長	濱田英嗣
図書館長	下田 守
産業文化研究所長	道盛誠一
事務局長	植田泰史



就任にあたって

理事長 松藤 智晴

下関市立大学は、開学51年目を迎える本年4月1日に公立大学法人として新たな一歩を踏み出したところ です。

2007年に大学は「大学全入時代」を迎え、国公立・私立に関係なく大学間競争が激しくなる中、下関市立大学も今後より一層の効率的な大学経営を目指すとともに学生から「下関市立大学に入ってよかった」と思われるような大学づくりをしていかなければならないと思います。

下関市立大学ではこのように大学を取り巻く環境が大きく変わろうとしている時代の変化に対応し、より魅力的でより地域に貢献できる大学を目指すとともに更に進化発展した大学とするため、本大学では大学存立の両輪ともいうべき大学経営と教育研究の両部門にそれぞれ専門性を発揮すると同時に権限と責任を持つ組織を構築いたしました。

私は法人経営と教学の十分な連携を図り、「教育研究」とそれを支える「財政」の両輪を常にバランスよく回転させていくことが重要であると認識し、下関市立大学の更なる発展のため誠心誠意任務を全うしてまいります。

今後とも、公立大学法人下関市立大学への温かいご指導・ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

健康・スポーツセンター完成



大学の正門をくぐり、視線を左にやれば存在感のある建物が目に飛び込んでくる。開学 50 周年に当たる本年 3 月にデビューし、バスケ 3 面の巨大なアリーナ

をもつ体育館である。

単に広いだけではない。設計段階から考え抜いたノウハウが詰まっている。例えば、防球ネット。これは、カーテンのように左右から閉じるのではなく、天井から電動で昇降する。この日本初の昇降式防球ネットで 3 つの部屋に仕切れば、隣の活動を気にせず集中して練習できる。また、玄関の正面にはフローリングの多目的室がある。これは、サブアリーナ、ミーティングの場、スタジオ、大会時の事務局など、様々な用途に応じて活用できるオープンスペースである。

体育館の新設は、ハード面での充実にとどまらない。これを機にして、テニスコートや武道場など、本学に点在するスポーツ施設を統合的に運営管理する「健康・スポーツセンター」機能も併せ持つことになった。これは、担当する学生支援班や教員のみならず、学生代表も交えた厚生・体育施設等運営委員会という画期的な組織体制で運営し、その事務局を今春に本学を卒業した岩本朋子さん(右写真)



が切り盛りする。

競技大会、課外活動、健康づくり、レクリエーションなど学生の要望は多様である。さらには、地域に開かれた大学を標榜する本学にあって、地域貢献の一環として市民のニーズにも応える必要もある。ハード面では、こうした様々な要望に柔軟に対応できるように、小部屋を作らず、開放的な空間を広く取り、如何様にも変容可能となるよう設計を工夫した。これに魂を込めるのは、規律と自由度を併せ持つ制度と支援体制であり、本年度中に固めていきたい。

明るい光が差し込む開放的な空間の中に入れば、誰しも運動欲求が自然と沸き立つものである。クラブ活動はもちろんのこと、授業の合間に自転車こぎや卓球を楽しむなど、大いに活用していただきたい。



2006 年度卒業式



2007 年 3 月 25 日(日)、完成したばかりの真新しい体育館で、第 42 回卒業式が行われた。経済学科 240 名(総代・岡野恵弥さん)、国際商学科 226 名(総代・福元万里恵さん)の計 466 名の学部卒業生に学士学位記が授与され、経済社会システム専攻 3 名、国際ビジネスコミュニケーション専攻 5 名の計 8 名(総代・田中健作さん)の大学院修了者に修士学位記が授与された。今年度で退任する堀内学長は「乏しきを憂えず、仁少なきを憂う」との孔子の言葉をはなむけとして贈り、「時代の変化に流されることなく、大学で培った学びの精神を大切に、社会に巣立ってください」と祝辞を述べた。江島市長などによる祝いと激励の言葉に続いて、学部卒業生を代表して経済学科の永田佳久さん、留学生を代表して社濤さん、大学院生を代表して王浩

澤さんが出発(たびだち)の言葉を述べた。続いて、卒業生より記念品が贈呈され、吹奏楽演奏、応援団による応援歌及びエールで式典が閉じられた。

式後はまちかまえたサークルの後輩学生が花束を手渡したり胴上げしたりして卒業生の門出を祝福していた。また掲示板の前では、在校生によって、ふぐ鍋が振る舞われた。卒業式に続いて、海峡メッセに会場を移して、卒業記念パーティが開催された。

8 名に大学院の修士号を授与

8 名の修士論文の論題は以下の通り。

経済社会システム専攻

・離島航路の現状と課題—瀬戸内海西部の小規模離島における定期航路を中心に—

・化粧品と顕示的消費—現代消費社会の一考察—

・環境実践に向かうための環境コミュニケーションに関する研究

国際ビジネスコミュニケーション専攻

・日本製品の中国市場におけるネーミング問題

・イオングループの成長と戦略—C I の視点から

・中国におけるスーパーマーケットおよび G M S の動向—外資参入企業と中国現地企業の発展—

・青島経済技術開発区の現状と展開—W T O 加盟後の変化と今後の方向—

・中国の物流政策に関する研究

大学院修了者の進路は、博士後期課程進学 2 名、一般企業 3 名、帰国して職場復帰 1 名などとなっている。

2007年度入学式

4月8日、第46回入学式が昨年度完成した新しい体育館で行われた。「青潮ゆたかに」の斉唱、江島潔下関市長からの祝辞に続いて、坂本学長より「さまざまな人と出会えることが大学の特徴の一つ。教職員やサークルの先輩など多くの人に接し、共創の精神で大学づくりに関わってほしい」と祝辞が述べられた。関谷博下関市議会議長（福田幸博同副議長代読）、長秀龍後援会長、柴田勝利同窓会長、田中究学友会会長の祝辞の後、学部新入生代表松成若虎君、学部留学生代表張旭哲君、交換留学生代表アラン・マイケル・ロバーツ君、科目等履修生代表サーウィニー・コーウォンさん、大学院新入生代表頼正亮君から誓いの言葉が述べられた。続いて、吹奏楽部による演奏、応援団による応援歌・エールの披露が行われた。式典終了後には、体育館前に待機していた在学生在が部活動・サークルの勧誘競争を繰り広げたほか、恒例となっているふく鍋も振る舞われた。当日は晴天に恵まれたこともあって多くの保護者も列席し、入学式後に開かれた保護者説明会には約300名の参加があった。

今年度の入学生は、学部学生が経済学科236名、国際商学科227名、計463名（うち外国人留学生8名）、それに3年次編入学生が21名加わった。また、特別聴講学生としてクィーンズランド大学（オーストラリア）、東義大学



（韓国）、青島大学（中国）から計7名、科目等履修生としてトルコ、タイ、中国からの計5名が1年間学ぶ。さらに大学院には4名が入学した。

スキー研修を通して見た韓国

国際商学科 吉田 州 佑



下関港からフェリーに夕方乗り込み、翌朝には韓国第二の大都市でしかも下関市の姉妹都市である釜山に到着、出発前の教養演習の

授業で練ったプランに沿って、グループで市内を一日回りました。繁華街には露店が連なり、人が溢れ非常に活気があります。タクシーで港の脇を通ると、うず高く積まれた膨大なコンテナの数に驚きました。大学の授業で釜山港は、「東アジアのハブ港」と学んでいた通りで、その規模の大きさを実感しました。

釜山で一泊して、翌朝200km離れたムジュリゾートスキー場へ移動し、スキーとスノーボードに分かれ、技術別のチームで一日半指導していただきました。ムジュのスキー場は、人工雪のため硬いのが難点ですが、日本と比べて全く遜色なく、きれいに整備されています。私たちは快適に楽しむことができました。

初めての訪韓でしたが、韓国はイメージよりも、実際には堂々とした先進国であるという認識に変わりました。と同時に、問題点も見えました。それは、ゴミに関することです。街中の街路樹や道路脇のプランターにはゴミが投げ捨てられ、スキー場でも、リフトに乗った人が投げ捨てた空き缶やタバコの吸殻が目立ちました。

世界をリードする技術力があっても、ゴミ処理の問題を軽視しては、それが経済発展にブレーキをかける要因になりかねません。このような問題の改善こそ、韓国にとってさらなる成長への近道だと感じました。

ロス・メダノス・カレッジ留学

国際商学科3年 塩見 美千代

アメリカのロス・メダノス・カレッジへの1年間の交換留学という貴重な経験を通して、異国の地で生活する難しさと授業に対する積極的な姿勢を学ぶことが出来ました。留学当初は環境に慣れるために奮闘する日々で、履修の仕方やどのクラスを取ればいいのか等、全く分からないことばかりでした。また、英語での授業は想像していたよりもハードなもので、授業内容を理解すること、日々の課題をこなしていくことも一苦労だったことを思い出します。そのような厳しい状況の中で、私達を支えてくれたのは、先生やクラスメイトでした。授業は少人数制で、生徒の多くが自主的に発言する光景を目にします。そういう生徒の授業に対する意識の高さに刺激され、以前の自らの講義への取り組み方について改めて考えさせられた留学生活でもありました。

この大学はコミュニティー・カレッジという地域に密接した大学であるため、生徒の年齢層は幅広く、人種も様々な人達がいきました。英語を第二言語とする学生のための授業もいくつかあり、ビジネスの授業と並行しながらその授業も取りました。また、休み時間などは、友人とお互いの



文化や自分の育ってきた環境などについて話し合ったりして、互いのバックグラウンドや文化を理解するための環境にも恵まれ、良い時間を過ごすことが出来ました。一年間の留学生生活を振り返り、思い出は沢山すぎるほどあります。この留学を通して経験した数々の苦労や困難、そして時には楽しかったことや幸せだったことなどを、いつも胸に忘れず、心の糧にしていきたいと思えます。

2006 年度就職状況

平成 19 年 3 月 31 日現在の就職決定状況は、男子 95.5%、95.9%、全体で 95.7%となっており、前年同時期の 94.6%と比較すると、1.1 ポイント高くなっている。全体的に、就職に明るい兆しが見え始めたといえる。ただ、公務員等、業種によっては厳しい状況が続いている。4 年生にはいっそうの健闘を期待したい。

平成 18 年度就職決定企業一覧表 (平成 19 年 3 月 31 日現在)

Table with 4 columns listing companies and their industries. Columns include: 建設業 (12), 電気ガス水道業 (2), 小売業 (65), 岡三証券(株), 総合病院社会保険徳山中央病院; 日本国土開発(株), 西部ガス(株), 錦商事(株), 日本ファースト証券(株), 社会福祉 (1); 大和ハウス工業(株), 山口合同ガス(株), 日興コーディアル証券(株), 日興コーディアル証券(株), ライフコミュニケーション; 戸田建設(株), 情報・通信 (25), 小売業 (65), 農林漁業金融公庫, 学校教育 (4); セキスイハイム中国(株), 日本テレビエンタープライズ(株), 小売業 (65), 豊商事(株), 学校法人河合塾; ダイダイン(株), (株)ティー・エス・ティ, (株)サンドラッグ, (株)阿波銀行, 山口大学学校事務; (株)大本組, (株)アルファシステムズ, (株)ローソン, (株)静岡中央銀行, 鹿児島県立鹿屋工業高等学校; 日本技研建設(株), シンガマトロン(株), (株)三越, (株)セントラルファイナンス, 下関市立中学校; (株)高田工業所, NECフィールディング(株), (株)ヨドバシカメラ, (株)三重銀行, その他の教育 (3); (株)ヤマサキ, アイエックスナレッジ(株), (株)カーチス, (株)びわこ銀行, 東京個別指導学園; (株)川口建設, 日本アイ・ピー・エムテクニカルソリューション(株), (株)天満屋ストア, (株)エー・シー・イー・インターナショナル(株), (株)ノヴァ; 大和ハウス工業(株), (株)パスコ, (株)ツバタ, (株)近畿大阪銀行, 複合サービス (10); 自営業 (鎌田サービス), (株)ドリコム, (株)毎日コミュニケーションズ, (株)野村證券(株)エリア総合職, 下関農業協同組合等; 製造業 食料品・タバコ (5), (株)フリーセル, (株)オリオン, (株)兵庫信用農業協同組合連合会, サービス その他 (37); アサヒビール(株), (株)田中食品(株), (株)オリオン, (株)紀陽銀行, アイラン(株); 三共水産(株), (株)田中食品(株), (株)三洋堂書店, (株)トマト銀行, (株)C I P; 田中食品(株), (株)数研出版, (株)レッドバロン, (株)中国銀行, 総合警備保障(株); オタフクソース(株), (株)カコムス(株), (株)毛髪クリニックリーブ21, (株)もみじ銀行, ジェコム(株); 有限会社フェスティバロ, (株)富士通関西システムズ, 有限会社ホンダ買取那賀, 広島市信用組合, 富上通エフ・アイ・ピー(株); 製造業 繊維工業 (7), (株)日本アイビーエム共同ソリューションサービス(株), トヨタカローラ鳥取(株), 呉信用金庫, (株)WDB(株); (株)オンワード樫山, 東京コンピュータサービス(株), 島根トヨタ自動車(株), しまなみ信用金庫, (株)マイスター; 三松商事(株), (株)社団法人徳島新聞社, 山陽マルナカ(株), (株)西京銀行, 日経工産(株); 仙田(株), (株)安法人情報九州, (株)ソプリングープ, (株)山口信用保証協会, 税理士事務所; (株)チュチュアンナ, (株)K I S, (株)九州労働金庫, (株)百十四銀行, (株)トヨタレンタリース石川; 明石被服興業(株), (株)RKKコンピュータサービス, 岡山銀行, (株)伊予銀行, 浜松労務管理事務所; 松岡(株), (株)山口情報処理サービスセンター, 青山商事(株), (株)四国銀行, 日本ゼネラルフード(株); 製造業 印刷 (1), (株)運輸 (25), (株)ほりやま商事(株), 九州労働金庫, 高見(株); 佐川印刷(株), (株)J A L スカイサービス, トヨタカローラ広島(株), 大和証券(株)久留米支店, (株)大和工商リース(株); 製造業 科学・石炭 (9), ヤマト運輸(株), トヨタカローラ山口(株), (株)西日本シティ銀行, (株)フォルムアイ; (株)ポーラ化粧品本舗, エアーニッポン(株), 山口日産自動車(株), (株)九州親和銀行, (株)第一技研; 持田製薬(株), (株)山九(株), ネットトヨタ広島(株), (株)九州親和銀行, (株)J T B 中国四国; (株)ファンケル, 日本運送(株), (株)大進本店, (株)十八銀行, 全国農業協同組合連合会; クオレ(株), 全日本空輸(株), 山口日産自動車(株), 全国共済農業協同組合連合会; 関西ペイント(株), 岩谷物流(株), ネットトヨタ山口(株), 合会熊本県本部; 高松帝酸(株), セイコー(株), (株)ユニクロ, (株)熊本ファミリー銀行; 正晃(株), (株)上組, (株)大分銀行, 熊本中央信用金庫; 製造業 鉄鋼・金属 (3), 岡山県貨物運送(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; 大同特殊鋼(株), (株)シーゲートコーポレーション, (株)大分銀行, (株)大分銀行; 大阪鋼管(株), 西日本旅客鉄道(株), (株)山口銀行, (株)大分銀行; (株)岡本鉄工所, (株)ANAエアサービス松山, 西中国信用金庫, (株)大分銀行; 製造業 一般機械器具 (5), 四国西濃運輸(株), 東洋証券(株)下関支店, (株)大分銀行; オカネット工業(株), 三井倉庫九州(株), 東洋証券(株)下関支店, (株)大分銀行; ユアサ工機(株), 池田興業(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; NECセミコンパッケージソリューションズ(株), 鶴丸海運(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; (株)長府製作所, 福岡倉庫(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; 製造業 電機機械器具 (1), 門蘆港運(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; 三菱電機(株), 関光汽船(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; 製造業 電子部品 (2), 卸売業 (28), (株)大分銀行, (株)大分銀行; ミツミ電機(株), 国分(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; ワボウ電子(株), 三谷商事(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; 製造業 輸送用機械器具 (5), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; (株)ショーワ, (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; 大同メタル工業(株), シグマ(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; ダイハツ九州(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; 旭洋造船(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; 製造業 その他 (13), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; アイリスオーヤマ(株), アートコレクションハウス(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行; ニチアス(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; (株)丸八農綿, (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; ダイナバック(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; タカラスタンダード(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; バンドー化学(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; 西川ゴム工業(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; ドリームベット(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; 自営業 (内田紙工), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行; 日之出水道機器(株), (株)大分銀行, (株)大分銀行, (株)大分銀行;

入 試 状 況

2006 年度入学者選抜実施状況

		学 科 (募集人員)	志願者	受験者	合格者	入学者	実質 倍率
一般選抜	前期日程	経済(60)	374	347	86	66	4.0
		国際商(60)	417	371	97	59	3.8
	公立大学中期日程 (旧C日程)	経済(96)	1489	879	363	104	2.4
		国際商(96)	1746	987	299	94	3.3
推薦入学	全 国	経済(31)	99	99	31	31	3.2
		国際商(31)	90	90	33	33	2.7
	地 域	経済(33)	43	43	33	33	1.3
		国際商(33)	40	40	33	33	1.2
特別選抜	帰国子女、社会人、 中国引揚者等子女	経済(5)	3	3	1	1	3.0
		国際商(5)	4	4	2	1	2.0
	外国人留学生	経済(若干名)	11	11	7	1	1.6
		国際商(若干名)	24	24	12	7	2.0
編入学	経済学科	(10)	30	22	12		1.8
	国際商学科	(10)	24	22	11		2.0
大学院	経済社会システム専攻	(5)	1	1	1	1	1.0
	国際ビジネスコミュニ ケーション専攻	(5)	4	3	2	1	1.5

2007 年度合格者出身校

[北海道]有明、大麻[宮城]泉[栃木]佐野2[千葉]鎌ヶ谷
[富山]高岡西、福岡[石川]大聖寺2、鹿西、七尾、輪島、小松
秋峰、野々市明倫
[福井]高志2、羽水2、敦賀、若狭、武生東2[長野]佐久長聖
[岐阜]長良、加納、恵那2、多治見西[静岡]静岡東2、浜名、
富士東、浜松日体
[愛知]名古屋大学教育学部附属、愛知産業大学三河、春日井
東、阿久比、豊田北3、豊田南5、美和、岡崎西、愛知、菊華、春
日丘、清林館、岡崎北、豊丘[三重]四日市南、津東、宇治山田、
上野、川越2、暁、三重、興學館[滋賀]彦根東、長浜北、守山、
虎姫、光泉[京都]北桑田、西舞鶴、宮津2、加悦谷、峰山2、西
京3、久御山、西城陽、菟道3、南陽3、東山[大坂]河南2、門
真なみはや、千代田、開明2、履正社4、桃山学院2、大阪信
愛女学院、大谷、関西大倉、大坂工業大学、近畿大学附属、啓
光学園、摂陵、大坂青凌[兵庫]伊川谷、神戸商業2、明石、明
石北2、小野、西脇5、社、三木3、姫路東4、福崎、龍野2、赤
穂、山崎2、姫路商業、豊岡2、八鹿、生野、宝塚西3、相生2、
東播磨、伊丹(市立)、近畿大学附属豊岡4、川西北陵、明石城
西、姫路飾西、兵庫県立大学附属、三田学園、兵庫県播磨2、
琴丘[奈良]高田、平城、智辯学園[和歌山]向陽、桐蔭、日高
2、開智2、近畿大学付属和歌山、和歌山信愛女子短期大学
附属、[鳥取]鳥取東、鳥取西5、八頭5、倉吉東4、米子西5、
境2、鳥取中央育英、米子松蔭[島根]安来4、松江南6、横田
2、三刀屋2、平田5、出雲6、大社、大田2、川本、江津、浜田
2、益田2、松江東、江の川[岡山]岡山操山5、岡山大安寺
3、岡山芳泉5、倉敷青陵、倉敷天城、倉敷南2、津山、津山商
業、津山東、玉野2、玉島(県立)、笠岡5、西大寺3、総社3、
高梁3、新見2、瀬戸2、矢掛、岡山学芸館、岡山一宮2、倉敷
古城池10、玉野光南、岡山城東2、就実、岡山理科大学附
属、玉野商業、林野[広島]広島大学附属、広島大学附属福山、
広島観音、広島皆実2、広島国泰寺2、海田2、可部、廿日市
9、五日市、安古市11、広4、呉宮原2、呉三津田、尾道東
2、尾道北9、三原5、三原東3、世羅、福山誠之館7、府中
2、大門2、船入5、高陽2、広島井口3、神辺旭2、祇園北
2、沼田、美鈴が丘2、因島、広島6、崇徳、広島県瀬戸内、安
田女子、比治山女子、ノートルダム清心、山陽女学園高等部、
広島県新庄、武田、広島文教女子大学附属、盈進、広島工業大
学附属広島、銀河学院、英数学館、如水館2、近畿大学附属東
広島[山口]岩国3、光3、徳山、防府、防府西、防府商業、山口

5、山口中央2、宇部、小野田2、厚狭4、美祢、大嶺、田部2、
西市2、豊浦9、長府6、下関西、下関南5、下関工業、豊北
3、大津、萩、新南陽、響6、西京6、下関4、高水3、野田学
園、宇部鴻城、サビエル、早鞆7、梅光女学院2、宇部
フロンティア大学附属香川[徳島]城東3、城南、城北
4、富岡東4、富岡西2、鳴門、阿波、脇町3、辻、池田、
海部[香川]三本松2、高松商業、坂出、丸亀、丸亀城
西、高瀬、観音寺第一2、高松西、高松桜井5、三木3、
香川誠陵4、香川県藤井[愛媛]三島、新居浜西2、西
条、今治西3、今治北、松山東、松山西、松山南2、松山
北5、松山商業5、八幡浜、宇和島南4、松山中央3、
新田、済美平成、[高知]高知西、中村、高知学芸、高知
追手前2[福岡]豊津2、京都3、門司2、小倉南6、小
倉商業3、小倉3、北九州、戸畑4、若松、八幡10、八幡
中央2、八幡南3、宗像、新宮、福岡魁誠、福岡中央、筑
前、明善、久留米3、三潞、伝習館、山門、三池5、八女
4、朝倉、田川2、嘉穂20、鞍手3、戸畑商業、福翔、北
筑12、春日、小倉東6、中間2、光陵、武蔵台、筑前4、
須恵、柏陵、玄洋、小郡、香住丘4、博多青松2、敬愛、
西南女学院、東筑紫学園2、北九州国際大学附属4、
近畿大学附属福岡、福岡大学附属大濠、九州女子、東福岡3、
中村学園女子、福岡工業大学附属城東5、大牟田2、祐誠3、
[佐賀]佐賀西、佐賀北、伊万里5、武雄、鹿島5、鳥栖2、三養
基3、白石2、唐津商業、武雄青陵、致遠館7、龍谷、佐賀清和
2[長崎]長崎東3、長崎南、長崎北2、佐世保南3、佐世保北
2、佐世保西4、大村4、諫早3、島原3、猶興館、五島4、上
五島、壱岐、西陵4、長崎日本大学[熊本]第二7、玉名2、鹿
本、矢部、宇土2、水俣、人吉、天草4、八代南、熊本北、東稜
4、文徳5[大分]別府鶴見丘2、大分上野丘7、大分鶴崎2、
白杵2、佐伯鶴城2、三重2、大分舞鶴17、大分武雄台3、竹
田6、森、日田4、中津南5、中津北、宇佐3、大分豊府8、明
豊[宮崎]延岡西、富島、日向2、宮崎大宮、宮崎南2、宮崎西
2、都城泉ヶ丘2、都城西2、都城商業、鵬翔3、宮崎第一、延
岡学園、日向学院[鹿児島]鶴丸、甲南3、鹿児島中央3、指
宿、加世田、川辺2、伊集院3、川内5、出水2、志布志、串良
商業、鹿屋9、種子島2、中種子、大島2、鹿児島玉龍6、武岡
台、鳳凰、大口明光学園、鹿児島第一[沖縄]那覇国際[高等学
校卒業程度認定試験]

24人の留学生が入学



今年度、新たに24人の留学生を迎えた。学部留学生が8人(中国)、姉妹校からの派遣学生が7人(オーストラリア・クイーンズランド大学1人、中国・青島大学4人、韓国・東義大学2人)、科目等履修生が5人(トルコ1人、タイ1人、中国3人)、大学院生が4人(中国)である。4月27日に盛大に歓迎会が行われ、入学したばかりの留学生たちは、教職員、学生、市民とビンゴゲームなどに興じていた。

退任挨拶

逝くものは、斯くの如きか

堀内 隆 治



私は3月末日をもって、学長任期満了に伴い、教員としても辞職しました。昨年度が本学の創立50周年に当たり、それをよい節目としました。長年の縁(えにし)に心から感謝を申し上げます。

法人化に伴う学長選考に関しては、未だ疑義を抱き続けています。その公正の是非については歴史の評価を待ちたいと思います。苦い思いと安堵感を抱いての辞職ですが、精神の自立を保持し、誇りをもって市大に別れを告げました。

1970年7月、全共闘時代の余燼冷めやらぬ福岡の地を離れて、未知の下関市立大学に赴任してから37年目を迎えます。教員不足、建物設備の不備、学部増への設置者の理解欠如など、時期折々の困難を経験しました。特に、地方公共団体への地方交付税交付がありながら、毎年の経常費(運営費)を学生の授業料等に大きく依存した設置者の姿勢には、苦しい思いを続けてきました。

それでも、私にとっては苦楽を共にする学生、教員そして事務職員に恵まれた、よき大学でした。本学には自由の空気がありました。学生、教職員が同じ生活の場として共に集い合う平等の気風がありました。学生を心から思いやる学びの場の自由と平等がありました。

そのような市大50周年をもって市大を去ることは、むしろ本望だと思っています。私は法人化を苦渋の選択として受け入れましたが、経営効率の強調、事務管理の強化、教授会自治の縮小などを危惧しています。

市大は私の全てでした。全力を尽くした思いで、後悔はありません。いまは学びを共にした学生諸君、教職員の皆様に感謝の気持ちで一杯です。ありがとうございました。

種播く人の祈りを込めて

山 田 留里子(明星大学人文学部)



9年間の市大での私の教員生活は「何かを創り出すという建設的な活動に取り組む中でこそ学生たちは大いなる理想を持ちうる」という確信とこれからの私の教育と研究に大きな勇気を与えて下さいました。それは「実験的な授業」や「継続性を持った定期的な活動」を行うことを積極的に奨励して下さり、地域に住む人々との触れ合いを大切にしてい

く作業の中で生み出された教育方法を、再び教育現場へと還元していく、という市大における特色ある教育プログラムが基盤になっていたからです。そして、私の専門分野であります中国語教育を通して、私は革新的な授業法を開発することもでき、学生たちは、語学は世界を結ぶ力であると確信し、善の連帯を大きく広げていくことができました。「学生が大学教育を終えて母校を巣立つ時、彼の中に大学教育を通して生まれたものを教養と呼び、その教養は何かと問われたら、私は、それは学生が教授との触れ合い、切磋琢磨の中で培った総合的な人間性であると申し上げるでしょう」(ヴィクトル・A・サドーヴィニチー モスクワ大学総長)。この言葉を胸に、これからも学生と共に世界に貢献できる人間を目指し全力で挑戦して参ります。最後になりましたが市大の教職員の方々に心から感謝申し上げます。

田 中 敏 行(大分大学経済学部)



千葉県市川市から平成17年4月に下関市立大学に赴任した日を今でも鮮明に思い出せます。山口宇部空港に着きバスで下関に入る途中に左手に広がる関門海峡の雄大さに圧倒されたことを、そして教員として初めての市大での勤務であったことを。また市大では教員の皆様からアット・ホームで穏やかなホスピタリティを受け教員生活をスタートできたことは生涯忘れることは無いでしょう、感謝しております。わずか2年間という短い期間ではありましたが、市大での教員生活で教員になって良かったなと実感したことは、ゼミを通して学生とコミュニケーションを図りながら社会人として巣立つお手伝いできたこと、また自分の研究成果として何本か論文を出せたことでしょうか。反省することもいくつかあります。それが私の今後の教員生活の糧としてこれからも教育と研究に向かって精進したいと考えています。この4月から大分大学経済学部に着任しましたが、下関市立大学は私の教員としてのスタート地点であり、永久の故郷です。市大の発展を祈念しています。

高 嶋 正 晴(立命館大学産業社会学部)



このたび、本学を離れ、母校である立命館大学産業社会学部に戻ることにになりました。市大は、私にとって、常勤としての最初の赴任校でしたが、そのことの幸運を、こうして離れるにあたって改めて実感しています。これもひとえに、良き同僚教員の皆さん、職員の皆さんに恵まれたこと、そして、ゼミや講義で未来志向を強くもった意欲ある学生諸君に出会えたことに尽きると思います。

そして、附属産業文化研究所を通じての関門地域共同研究や青島国際共同研究などの研究事業への参加や、市民大学や唐戸市場での調査など地域貢献事業への参加は、私の視野と研究の方向性を広げてくれました。こうしたなかでまた、「研究は地域に根ざし、教育は世界をめざす」という市大の理念の素晴らしさを実感するようにもなりました。大学が変わっても、この理念を心にとどめおきつつ、そして、市大での4年間の得がたい経験を活かしつつ、これからも研究教育に頑張りたいと思います。この間を支えて下さった皆様方に感謝いたします。有難うございました。

青島大学から孫海平先生が着任



4月1日に青島大学からの派遣教員として孫海平(Sun Haiping)先生が着任された。一年間、本学の特任教員として中国語の授業を担当する。

孫先生は、中国古代文学と対外中国語教育が専門で、文学の領域では清代の『紅樓夢(こうろうむ)』や『聊齋志異(りょうさいしい)』についての研究、教育の領域では本科留学生の卒業論文についての論考や成語教育の研究や中国語教材の開発などを行っておられる。

青島大学では、漢語言学院で留学生の初級班から上級班、また本科班まで、様々なレベルの学生を対象に精読、作文、リスニングやHSK対策などの授業を担当されている。

ケンブリッジ滞在記

大内 俊二



2006年4月2日、私は豊かな緑の中に中世がそっくり残るケンブリッジに到着し、不安と期待を抱えてウルフソン・カレッジの正門をくぐった。

ケンブリッジには現在31のカレッジがあり、それらにいくつかのファカルティと大学付属施設などを付け加えた総体をケンブリッジ大学と呼んでいる。教育の主体はカレッジにあり、学生はそこでフェローと呼ばれるカレッジの教員からスーパーヴィジョン（個人指導）を受ける。各カレッジでは、セミナーやコンサートなどが頻りに催され、メンバー（学生・フェロー・訪問研究員など）は幅広い学問や芸術に接する多くの機会を持つ。さらに学期中には週に2度から3度フォーマルディナー（晩餐）があり、希望すればメンバーとその客は出席できる。ただし出席者はアカデミック・ガウンを羽織るなど正装しなければならない。私は運よくウルフソン・カレッジのメンバーにして頂き、カレッジ内に滞在していたのでこれらの恩恵に浴することができた。ウルフソンはケンブリッジ大学でもっともコスモポリタンなカレッジと言われており、私が親しく付き合っていたメンバーの出身国だけを見ても、イスラエル・ドイツ・イタリア・トルコ・スペイン・アイスランド・ジンバブエ・南アフリカ・ザンビア・ニジェール・台湾・韓国・アメリカなど13カ国を超える。かれらと付き合う上で、私の英会話の能力はかなり未熟なものであったが、食事やお酒を共にしながら、また美しい緑に囲まれたパブリック・フットパスを散歩しながら、いろいろな話をするのはとても楽しいことであった。このようにウルフソン・カレッジは私にとってとても快適な生活・交流の場であった。

研究は、大学付属のフィッツウィリアム博物館にあるコインズ&メダルズというデパートメントを拠点にして行った。ここを拠点にできたのは、コインズ&メダルズの部長を務めるブラックバーン博士の寛大なご配慮のお陰である。そこで私は、ヨーロッパにおける古代貨幣の造幣規模を推定するための統計理論のサーベイを行う傍ら、フィッツウィリアム博物館所蔵の中国貨幣のデータベースを作り、そのデータベースを使って唐から明の時代の代表的な貨幣の量目の生産管理状態を統計的手法を用いて調べた。毎朝9時過ぎに出勤し、午後4時55分の館内アナウンス「The museum is now closing.」を聞き、帰り支度をするとというのが日課であったが、判で押したように午前11時と午後4時にあるtea(coffee) timeでのスタッフたちとの談笑は楽しく有意義なものであった。また、ブラックバーン博士を始めとして何人かのスタッフには、休日やアフターファイブにパーティやご自宅のディナーに呼んで頂



くなど、本当に親切にして頂いた。

綴りたいケンブリッジでの思い出は尽きないが、与えられた紙幅はもうすぐ尽きる。最後に、お世話になった方々に心より感謝申し上げペンを置くことにする。

Thank you Shidai, Wolfson college and Dr Blackburn!

国内研修記

池田 清



私は、2006年10月から2007年3月までの約6ヶ月間、京都大学大学院経済研究科で学ぶ機会を得ました。私の研究テーマは、「創造的自治と地域再生」である。創造と地方自治は、現代の閉塞した社会や経済、政治、その集約としての地域衰退を克服するキー概念である。ヴァーノンによれば、創造性とは、まったく異質なものを、異質な考えと考えを結びつけることに成功することとされている。ここでいう成功とは、芸術であれば第3者が感動し、科学的理論であれば有効性があることを指す。それゆえ創造性は、異質なものの、自分の考えと異なるもの、お互いの個性を尊重することが不可欠で、強制や画一化とは無縁のものである。また創造性は、新しいアイデア（理想）を創り、理想に向かって世界を創りかえることである。その理想とは、個人や社会、そして国家が、過去の失敗や経験から深く学び教訓を引き出し考え抜かれたものである。それゆえ創造性は、学習過程でもあり、「新たな経験や行動の結果を神経組織によって脳に伝達し、それを過去の経験や行動の総括である記憶と照合して、変化する環境に適応すべく新たな判断と行動を創造する営みなのである」（N.ウィナー）。地方自治は、ひとり一人の個性と人権、民主主義を発展させる上で最も重要な概念であるが、そのためには個人や組織に創造性が求められている。私の創造性と地方自治を結びつけた研究成果は、第一に下関市立大学50周年記念論文集に掲載した「日本型『創造都市』批判」、第二に京都大学の財政学研究会や地域経済研究会での研究報告、第三に兵庫県震災復興研究センター出版の『災害復興ガイド』の企画や一部執筆などに具体化されている。さらにこれからもこのテーマを追求していきたいと思っている。最後に、貴重な研修機会を与えていただいた大学関係の皆さんにこの場をお借りして感謝したい。

教員著作目録(2006年4月～2007年3月)

- 池田 清：（単著）『創造的自治と地域再生』日本経済評論社、2006.7
- 金子 肇：（共著）久保亨編『1949年前後の中国』汲古書院、2006.12
- 木村健二：（共著）『近代植民地都市 釜山』桜井書店、2007.3
- 佐藤 隆：（共著）白井正敏・大住康之・釜田公良編『公共経済学研究IV』勁草書房、2007.3
- 杉浦勝章：（共著）九州経済調査協会編『九州産業読本』西日本新聞社、2007.3
- 丹下 栄：（共著）井内敏夫編著『ヨーロッパ史のなかのエリート—生成・機能・限界—』太陽出版、2007.3.
- 平岡昭利：（単著）『行為論的アプローチによる日本人の南洋進出—アホドリを中心に—』2004～2006年度文部科学省科学研究費補助金 萌芽研究 研究報告書、2007.3

19年度予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収 入	
運営費交付金	115
授業料等	1,047
入学金	127
入学検定料	54
事業収入等	11
計	1,354
支 出	
一般管理費	156
人件費	1,007
教育経費	104
研究経費	45
教育支援経費	42
計	1,354

行事記録

(2007年1月～5月)

- 1月4日(木) 公務始め
- 1月8日(月) 授業開始
- 20日(土) 大学入試センター試験(～21)
- 23日(火) 秋学期補講(25,30,31)
- 25日(木) 秋学期試験時間割発表
- 27日(土) 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生)入試
- 2月1日(木) 秋学期試験開始(～14)
- 2日(金) 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生)入試合格発表
- 15日(木) 第4回就職ガイダンス
- 25日(日) 一般選抜前期日程入試(下関・大阪)
- 3月7日(水) 一般選抜前期日程入試合格発表
- 8日(木) 一般選抜中期日程入試(下関・大阪・福岡)
- 9日(金) 一般選抜前期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)入学手続開始(～15)
- 17日(土) 大学院(二次)入試
- 19日(月) 大学院研究発表会
- 22日(木) 一般選抜中期日程・大学院(二次)入試合格発表
- 23日(金) 一般選抜中期日程・大学院入学手続開始(～27)
- 25日(日) 卒業式
- 4月1日(日) 春季休業開始(～7)
- 4月8日(日) 入学式
- 9日(月) オリエンテーション(～11)
- 12日(木) 春学期授業開始定期健康診断(～18)
- 27日(金) 留学生歓迎会

19年度年間行事予定

(2007年6月～2008年3月)

- 6月1日(金) 開学記念日
- 16日(土) 第1回就職ガイダンス
- 21日(木) 入試説明会・学生総会
- 7月12日(木) 春学期試験時間割発表
- 16日(月) 春学期補講(～20)
- 24日(火) 春学期定期試験開始(～8/6)
- 8月5日(日) オープンキャンパス
- 6日(月) クリーンキャンパスデー
- 7日(火) 夏季休業(～9/30)

- 9月15日(土) 大学院入試
- 26日(水) 大学院(一次)入試合格発表
- 28日(金) 平成19年度春学期卒業式
- 30日(日) 就職入門ガイダンス
- 10月1日(月) 秋学期授業開始
- 2日(火) 大学院入学手続開始(～7)
- 26日(金) 大学祭(前夜祭)(～29)
- 11月16日(金) 第3回就職ガイダンス
- 17日(土) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)編入学入試
- 27日(火) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)編入学入試合格発表
- 30日(金) 推薦入学・特別選抜(帰国子女・社会人)編入学入学手続(12/7)
- 12月25日(火) 冬季休業開始(～1/6)
- 28日(金) 公務納め
- 1月4日(金) 公務始め
- 19日(土) 大学入試センター試験(～20)
- 22日(火) 秋学期試験時間割発表
- 26日(土) 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生)入試
- 2月1日(金) 特別選抜(中国引揚者等子女・外国人留学生)入試合格発表
- 4日(月) 秋学期定期試験開始(～15)
- 13日(水) 第4回就職ガイダンス
- 25日(月) 一般選抜前期日程入試(下関・大阪)
- 3月7日(金) 一般選抜前期日程入試合格発表
- 8日(土) 一般選抜中期日程入試(下関・大阪・福岡)
- 9日(日) 一般選抜前期日程・特別選抜(中国引揚・留学生)入学手続開始(～15)
- 19日(水) 大学院研究発表会
- 22日(土) 一般選抜中期日程入試合格発表
- 23日(日) 一般選抜中期日程入学手続開始(～27)
- 25日(火) 卒業式

下関市立大学 学校探検をしよう 2007

日時：平成19年7月7日(土) 9時50分～12時00分
会場：下関市立大学(下関市大学町二丁目1番1号)

※事前予約必要。ただし、当日参加も可。

内容

- 全体説明
- 個別相談
- 学内探検
- 先生と語ろう
- 経済学部で留学?

お問い合わせ先 下関市立大学学務グループ 入試班
TEL 0832-52-0289 FAX 0832-52-8099

オープンキャンパス 2007

日時：平成19年8月5日(日) 9時00分～14時30分
会場：下関市立大学(下関市大学町二丁目1番1号)

内容

- 全体説明
- 模擬海外研修
- 図書館ツアー
- 個別相談
- 大学院
- 模擬講義
- 市大生と語ろう
- コンピュータ体験
- 学内施設ツアー

お問い合わせ先 下関市立大学広報委員会
TEL 0832-52-0288 FAX 0832-52-8099

各位

「第52号 下関市立大学広報」正誤表

「第52号 下関市立大学広報」の記載に一部誤りがございましたので、お詫び申し上げますとともに、下記のとおり訂正いたします。

・訂正箇所

P.3 右下段「ロス・メダノス・カレッジ留学」の留学生の記載漏れ

(誤) 国際商学科3年 塩見 美千代 (正) 国際商学科4年 山尾 麻衣子
国際商学科3年 塩見 美千代

P.5 「2007年度合格者出身校」の全て

2007年度合格者出身校

[北海道] 有朋1、大麻1 [宮城] 泉1 [栃木] 佐野2 [千葉] 鎌ヶ谷1 [富山] 高岡西1、福岡1 [石川] 大聖寺2、鹿西1、七尾1、輪島1、小松明峰1、野々市明倫1 [福井] 高志2、羽水2、敦賀1、若狭1、武生東2 [長野] 佐久長聖1 [岐阜] 長良1、加納1、恵那2、多治見西1 [静岡] 静岡東2、浜名1、富士東1、浜松日体1 [愛知] 名古屋大学教育学部附属1、愛知産業大学三河1、春日井東1、阿久比1、豊田北3、豊田南5、美和1、岡崎西1、愛知1、菊華1、春日丘1、清林館1、岡崎北1、豊丘1 [三重] 四日市南1、津東1、宇治山田1、上野1、川越2、暁1、三重1、興學館1 [滋賀] 彦根東1、長浜北1、守山1、虎姫1、光泉1 [京都] 北桑田1、西舞鶴1、宮津2、加悦谷1、峰山2、西京3、久御山1、西城陽1、菟道3、南陽3、東山1 [大阪] 河南2、門真なみはや1、千代田1、開明2、履正社4、桃山学院2、大阪信愛女学院1、大谷1、関西大倉1、大阪工業大学1、近畿大学附属2、啓光学園1、摂陵1、大阪青凌1 [兵庫] 伊川谷1、神戸商業2、明石1、明石北2、小野1、西脇5、社1、三木3、姫路東4、福崎1、龍野2、赤穂1、山崎2、姫路商業1、豊岡2、八鹿1、生野1、宝塚西3、相生2、東播磨1、伊丹(市立)1、近畿大学附属豊岡4、川西北陵1、明石城西1、姫路飾西1、兵庫県立大学附属1、三田学園1、兵庫県播磨2、琴丘1、加古川北1 [奈良] 高田1、平城1、智辯学園1 [和歌山] 向陽1、桐蔭1、日高2、開智2、近畿大学付属和歌山1、和歌山信愛女子短期大学附属1、[鳥取] 鳥取東1、鳥取西5、八頭5、倉吉東4、米子西5、境2、鳥取中央育英1、米子松蔭1 [島根] 安来4、松江南6、横田2、三刀屋2、平田5、出雲6、大社1、大田2、川本1、江津1、浜田2、益田2、松江東1、江の川1 [岡山] 岡山操山5、岡山大安寺3、岡山芳泉5、倉敷青陵1、倉敷天城1、倉敷南2、津山1、津山商業1、津山東1、玉野2、玉島(県立)1、笠岡5、西大寺3、総社3、高梁3、新見2、瀬戸2、矢掛1、岡山学芸館1、岡山一宮2、倉敷古城池10、玉野光南1、岡山城東2、就実1、岡山理科大学附属1、玉野商業1、林野1 [広島] 広島大学附属1、広島大学附属福山1、広島観音1、広島皆実2、広島国泰寺2、海田2、可部1、廿日市9、五日市1、安吉市11、広4、呉宮原2、呉三津田2、尾道東2、尾道北9、三原5、三原東3、世羅1、福山誠之館7、府中2、大門2、船入5、高陽2、広島井口3、神辺旭2、祇園北2、沼田1、美鈴が丘2、因島1、広島6、崇徳1、広島県瀬戸内1、安田女子1、比治山女子1、ノートルダム清心1、山陽女学園高等部1、広島県新庄1、武田1、広島文教女子大学附属1、益進1、広島工業大学附属広島1、銀河学院1、英教学館1、如水館2、近畿大学附属東広島1 [山口] 岩国3、光3、徳山1、防府1、防府西1、防府商業1、山口5、山口中央2、宇部1、小野田2、厚狭4、美祢1、大嶺1、田部2、西市2、豊浦9、長府6、下関西1、下関南5、下関工業1、豊北3、大津1、萩1、下関商業18、新南陽1、響6、西京6、下関中等教育4、高水3、野田学園1、宇部鴻城1、サビエル1、翠輪7、梅光女学院2、宇部フロンティア大学附属香川1 [徳島] 城東3、城南1、城北4、富岡東4、富岡西2、鳴門1、阿波1、脇町3、辻1、池田1、海部1 [香川] 三本松2、高松商業1、坂出1、丸亀1、丸亀城西1、高瀬1、観音寺第一2、高松西1、高松桜井5、三木3、香川誠陵4、香川県藤井1 [愛媛] 三島1、新居浜西2、西条1、今治西3、今治北1、松山東1、松山西1、松山南2、松山北5、松山商業5、八幡浜1、宇和島南4、松山中央3、新田1、済美平成1、[高知] 高知西1、中村1、高知学芸1、高知追手前2 [福岡] 豊津2、京都3、門司2、小倉南6、小倉商業3、小倉3、北九州1、戸畑4、若松1、八幡10、八幡中央2、八幡南3、宗像1、新宮1、福岡魁誠1、福岡中央1、筑紫1、明善1、久留米3、三潞1、伝習館1、山門1、三池5、八女4、朝倉1、田川2、嘉穂20、鞍手3、戸畑商業1、福翔1、北筑12、春日1、小倉東6、中間2、光陵1、武蔵台1、筑前4、須恵1、粕陵1、玄洋1、小郡1、香住丘4、博多青松2、敬愛1、西南女学院1、東筑紫学園2、九州国際大学附属4、近畿大学附属福岡1、福岡大学附属大濠1、九州女子1、東福岡3、中村学園女子1、福岡工業大学附属城東5、大牟田2、祐誠3、[佐賀] 佐賀西1、佐賀北1、伊万里5、武雄1、鹿島5、鳥栖2、三養基3、白石2、唐津商業1、武雄青陵1、致遠館7、龍谷1、佐賀清和2 [長崎] 長崎東3、長崎南1、長崎北2、佐世保南3、佐世保北2、佐世保西4、大村4、諫早3、島原3、猶興館1、五島4、上五島1、老岐1、西陵4、長崎日本大学1 [熊本] 第二7、玉名2、鹿本1、矢部1、宇土2、水俣1、人吉1、天草4、八代南1、熊本北1、東稜4、文徳5 [大分] 別府鶴見丘2、大分上野丘7、大分鶴崎2、臼杵2、佐伯鶴城2、三重2、大分舞鶴17、大分雄城台3、竹田6、森1、日田4、中津南5、中津北1、宇佐3、大分豊府8、明豊1 [宮崎] 延岡西1、富島1、日向2、宮崎大宮1、宮崎南2、宮崎西2、都城泉ヶ丘2、都城西2、都城商業1、鵬翔3、宮崎第一1、延岡学園1、日向学院1 [鹿児島] 鶴丸1、甲南3、鹿児島中央3、指宿1、加世田1、川辺2、伊集院3、川内5、出水2、志布志1、串良商業1、鹿屋9、種子島2、中種子1、大島2、鹿児島玉龍6、武岡台1、鳳凰1、大口明光学園1、鹿児島第一1 [沖縄] 那覇国際1 [高等学校卒業程度認定試験] 1